



地域医療連携室だより Vol.77

平成 27 年 11 月 1 日発行

発行元 大津市民病院地域医療連携室

住所 〒520-0804

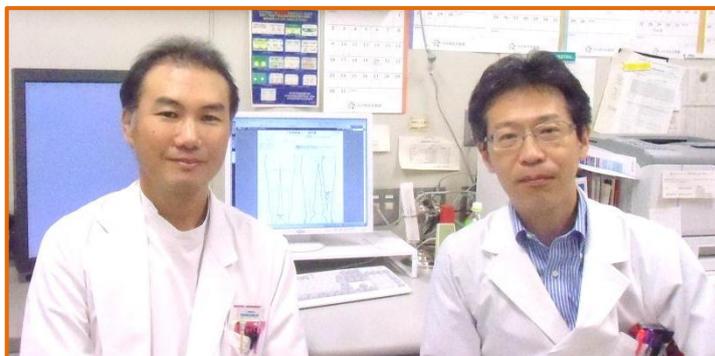
滋賀県大津市本宮二丁目 9 番 9 号

TEL 077-526-8192

<http://www.municipal-hospital.otsu.shiga.jp/>

心臓血管外科の紹介

心臓血管外科では「かかりつけ医」の先生方と緊密な連携をとりながら、狭心症、心筋梗塞に対する冠動脈バイパス術と弁膜症に対する弁形成、弁置換等の心臓手術や動脈瘤や下肢閉塞性動脈硬化症に対する人工血管を用いた手術から不整脈に対するペースメーカー埋め込み術や下肢静脈瘤手術まで様々な心臓、動脈、静脈疾患をかかえる患者さんに幅広い治療を行っています。特に冠動脈バイパス術では人工心肺を使用せず心臓を拍動した状態のまま手術する低侵襲オフポンプバイパス術や患者さん自身の弁を出来るだけ温存する弁形成術、腹部大動脈瘤には小皮膚切開法の導入など最新の術式に基づいた治療を積極的に行っています。



藤原 克次
心臓血管外科医長

岡野 高久
心臓血管外科診療部長

また本年 4 月より下肢静脈瘤に対して最新装置である治療用半導体レーザー装置(ELVeS レーザー1470)を導入しております。これにより従来手術よりさらに小さな傷で低侵襲な手術を行うことが可能となりました。外来診察は火曜日、金曜日です(出番表は下記の通り)。お困りの患者さんがおられましたらいつでもご相談下さい。



ELVeS レーザー1470

	月	火	水	木	金
午前		藤原			岡野
午後		ペースメーカー 外来(2,4週)			



秋山 雅信 室長

病院法人移行準備室長 就任のご挨拶

平成 27 年 8 月 5 日付けで病院法人移行準備室長を拝命いたしました秋山です。

すでに新聞報道等でもご存知のとおり、大津市では外部有識者によります大津市民病院経営形態検討委員会の答申を受け、医療の質の向上と病院の健全経営を目指すため、運用上に制約があり、経営の自由度が低い現在の経営形態を地方独立行政法人に移行させる方針を決定いたしました。これを受け、法人移行準備業務を担当するため、新たに病院事務局に病院法人移行準備室が設置され、兼務を含め 13 名の職員が配置されたところです。

地方独立行政法人は、地方独立行政法人法に基づき、市が 100% 出資して設立する法人であり、法人化することにより市の組織から独立した組織となりますが、法人設置者である市の適切な関与のもと、その法人が運営する病院は、「市立病院」としてこれまでどおり公的な役割を果たしていくことには変わりなく、民営化するものではありません。公務員制度上の制約が外れ、経営の自由度が増し、医療環境の変化をはじめ市民や患者の皆様方のニーズにも迅速に対応でき、医療の質が向上することで、市民により良い医療を安定的・継続的に提供することができるようになります。

法人化移行については平成 29 年 4 月を目標としており、法が定める手続きとともに、自主・自律的な法人運営のための組織体制等の整備に向けて、これから本格的な移行準備作業に取り組んでまいります。

法人への移行後も、市立病院であることには変わりなく、公的病院としての使命と責任を果たすとともに、地域の医療ニーズに応える、地域になくてはならない病院として、医療環境の変化に迅速に対応できる等のメリットを生かし、医療の質の向上を継続しつつ、『市民とともにある健康・医療拠点』を目指してまいります。今後も引き続き、皆様方のご指導、ご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。



大津市民病院大学レポート

第5回 健康講座

10月1日(木) 14時～15時

「歩いて治そう心血管病

～心血管病と心臓リハビリテーション～」

木股 正樹 (循環器内科医長)

参加者・院内7名、院外72名・計79名



内容は、心血管病(心筋梗塞や心不全)の再発予防の為に適切な運動療法と生活習慣の見直しを続けていくことが重要であり、中でも心臓リハビリテーションは、患者自身が主体的に取り組むことが重要であることなどについてでした。

終了後の参加者アンケートでも「とても分かり易かった」「楽しい講義だった」「教えていただいた生活習慣は今後に生かせる」などの意見が多く、好評でした。

出前講座

9月30日(水) 18時～19時

「看取りについて

～みんなが良かったと思える

看取りにするために～」

杉江 礼子 (がん看護専門看護師)

参加者 57名



高齢者総合福祉施設桐生園にて、施設内職員に対する出前講座(講師派遣)を行いました。

内容は、「老い」も含めたエンド・オブ・ライフ・ケアの考え方から看取り時のケアのポイント、家族との関わり方、ケア提供者自身のストレスマネジメントなどについてでした。

高齢多死の社会的背景の中にあって看取りは高齢者福祉施設においても担っていかなければならない役割であるとの認識で、実際に桐生園においても施設内での看取り件数は徐々に増加してきているとのこと。受講者の皆さんには熱心に聴講していただきました。

第6回 健康講座

10月22日(木) 14時～15時

「救急のおはなし」

小尾口 邦彦 (救急診療科診療部長)

参加者・院内9名、院外37名・計46名



内容は、当院の救急診療科の活動内容や最近の救急診療の現状、発見時に一般市民が行う救急蘇生の大切さなどについてでした。



終了後の参加者アンケートでも「日頃の知らない救急の現状を知り感動した」「市民病院の救急体制を頼もしく思った」「大切な命を真摯な姿勢で助けて貰っていると言うことが分かった」などの意見が多く、好評でした。

次回の開催予定

第7回 健康講座

11月19日(木) 14時～15時

「慢性腎臓病って知ってますか」

磯野 元秀 (内科診療部長)

大津市民病院
9階大会議室

公開講座

糖尿病 110番

～尿からわかる糖尿病と合併症～

11月8日(日) 13時～16時 (12時30分開場)

大津市民病院 2階 外来ホール

NST 勉強会レポート

第3回 NST 勉強会

大津市民病院 9階大会議室

9月24日(木) 17時30分～

参加者 70名

「“THE PEG ってな～に！”

～半固形状流動食と胃瘻の適応について～

西山 順博 先生 (医療法人西山医院 院長)

NST 勉強会は毎月第4木曜日17時30分から開催しています。今後も院外からもご出席いただければありがたいです。



普段は院内の職員を講師として開催していますが、今回は院外の西山先生を講師としてお迎えし開催、院外からもご出席いただきました。

PEGに関わる広い範囲のご講演で、日常のケアを中心にお話いただきました。特に患者様の栄養管理について、注入する栄養材の医薬品と食品のそれぞれの栄養面からの特徴や半固形状流動食を用いた場合の注入方法の特徴、さらにデモ機材を用意いただき、栄養材本体を直接手で絞っての注入や加圧バッグを用いての注入を出席者も参加して実際に試してみました。

講演の後半には、先生がかかわっておられる患者様との交流風景をご紹介いただきました。

ロビーコンサート

10月14日(水)、大津市民病院の本館1階正面玄関ロビーにおいて、『アンサンブル・ミュージック』の皆さんによるロビーコンサートを開催しました。

有名なクラシックから、誰もが耳にしたことがある秋の童謡まで、幅広い演奏を披露していただき、澄んだ歌声に思わず立ち止まる方もおられました。

